

日本線虫学会誌投稿規定

2022 年 3月 14日改訂

1. 会員は投稿できる。非会員も、報文の種別にかかわらず一編4,000 円の査読料を支払う場合には投稿できる。掲載却下の場合も査読料は返還しない。

【校閲料送金先】

ゆうちょ銀行 〇一九店 (店番号:019)

口座名義：日本線虫学会

(ニホンセンチュウガクカイ)

口座番号：当座 0610102

郵便振替

加入者名：日本線虫学会

口座番号：00170-6-610102

2. 投稿原稿は他の学術雑誌等に投稿および出版されていないものとする。内容は、線虫に関する総説、原著論文、短報などとする。また、線虫の分布や宿主の新たな記録、植物の線虫抵抗性検定などの有用情報を研究資料として投稿できるものとする。上記4種別を報文とする。報文原稿は、必ず別に定める原稿執筆要領に従って執筆する。

3. 原稿は、日本線虫学会誌編集事務局に投稿する。投稿は、原稿の電子ファイルの電子メールへの添付により行う。本文原稿の電子ファイルは、Microsoft® Word 形式または互換性のあるファイル形式あるいはPDF ファイル形式で作成する。図表原稿はMS-Word、Excel、PowerPointまたは互換性のあるファイル形式あるいはPDF ファイル形式で作成する。メール以外の投稿方法を希望する場合は日本線虫学会誌編集事務局までお問い合わせください。

4. 投稿された報文の掲載可否は、複数の査読者による査読結果に基づき、編集委員会が決定する。編集委員会

が必要と判断した場合には、著者に原稿の訂正を求めることができる。

5. 著者による校正は、原則として初校のみとする。著者校正は誤字や体裁の訂正にとどめ、内容の変更は認めない。

6. 紙媒体で提出された入稿用の原図は、予め申し出があった場合に限り返却する。その際は、切手を貼った返信用封筒を原図に同封する。

7. 原稿執筆要領に示す制限ページ数を超えた分の印刷経費は著者負担とする（超過半ページあたり3,400 円）。カラー印刷（通常50,000 円）に要した経費も著者負担とする。

8. 著者には刷り上がった報文のPDF ファイルを贈呈する。また著者負担（1部100 円；表紙なし）で別刷を作成することができる。別刷作成を希望する場合などの詳細の連絡は、原稿受理の後に行う。

【原稿投稿先】

日本線虫学会誌編集事務局（吉賀 豊司）

E-mail: editor@senchug.org

著作権：本学会出版物の著作権は本学会に帰属します。登載論文等の全体または一部を転載しようとする場合は、編集委員長の事前の許可が必要です。

著作物の複製：本誌に掲載された著作物を複製（電子的複製を含む）したい方は、（社）日本複製権センターと包括複製権許諾契約を締結されている企業等法人の方でない限り、本学会から複製権などの行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

（社）学術著作権協会

E-mail : info@jaacc.jp FAX : (03)3475-5619

著作物に関する複製以外の許諾（転載・翻訳等）は、直接本学会（shomu@senchug.org）にお問い合わせください

い。

原稿執筆要領

1. 原稿は和文または英文とする。和文原稿は、A4判の用紙(210×297 mm)に12ポイントのフォントを用い、1行35字、1ページ25行のレイアウトにする。英文原稿は、A4判の用紙に12ポイントのフォントを用い、ダブルスペースとする。その際、用紙の上下左右に30 mmの余白をあける。原稿には、第1ページも含め、全体にわたる通し行番号ならびにページ番号を必ずつける。

2. 原稿1編の制限ページ数は、刷り上がりで原著論文は10ページ(原稿で概ね20枚)、短報および研究資料は6ページ(原稿で概ね12枚)、総説は引用文献を除いて15ページ(原稿で概ね30枚)で引用文献は制限ページ数に加えないこととする。

3. 和文原稿は、第1ページに表題、著者名、および脚注に和文と英文の所属・所在地を記す。脚注引用記号は算用数字を用い、表題に脚注がある場合はそれに1を割り付け、著者の所属等脚注に2以降の数字を順次割り付ける。単独著者の所属脚注も数字で引用する。第2ページには英文で表題、著者名、要旨およびキーワードを記す。最初に表題と著者名を順に記す。改行して250語以内で英文要旨を記し、要旨の後にNematol. Res. と記す。改行してKey words: と記し、コロン(:)に続けて5語以内のキーワードをつける。キーワードは表題で使用していない語とする。段落では一文字下げする。本文は第3ページから始め、原則として緒言、材料および方法、結果、考察、摘要(400字以内)および引用文献の順に記す。小見出しのランクは、1.、1)の順で表示し、それ以下のランクにはランク記号を使用しない。

4. 英文原稿は、第1ページに表題と著者名を記し、脚注として、所属、所在地、その他の必要注解を記す。第2ページには250語以内の英文要旨を記し、末尾にNematol. Res. と記す。改行してKey words: と記し、コロン

(:)に続けて5語以内のキーワードを記す。英文原稿には、別葉として、400字以内の和文摘要をつける。和文摘要は、表題、著者名、本文の順に記す。

5. 英単語の綴りは米国式に統一する。

6. 和文原稿では、生物名はカタカナ、数字は算用数字、漢字は原則とし常用漢字を用いる。学名は属名と種小名はイタリックとする。主題が分類学に関係する場合は、*Bursaphelenchus xylophilus* (Steiner and Buhner, 1934) Nickle, 1970 のように記載者名と分類学的再検討者名を学名の後に含めて表記する。単位は以下のように略記する。長さ km、m、cm、mm、 μm ; 面積 ha、a、 m^2 、 cm^2 ; 容積 l または L、ml、 μl ; 重量 kg、g、mg、 μg ; 温度 $^{\circ}\text{C}$; 時間 h、min、sec; 濃度 M、mM、%、ppm; 塩基長 bp、kbp、Mbp など。数字と単位の間には $^{\circ}\text{C}$ と%を例外として半角スペースを入れる。接種密度などの場合は、10,000 頭/ml とし、マイナス1乗(ml^{-1})の表記は用いない。文中で統計解析の結果を述べる場合はP値も明記する。P値は大文字斜体とし、 $P=0.05$ 、 $P<0.01$ のように表記する。

7. 和文原稿では、英字、算用数字(一桁、二桁以降ともに)を半角文字で入力する。

8. 本文中にラテン語由来の単語たとえば、*et al.*、*i.e.*、*e.g.*、*ca.*、*vs.*、*in vivo*、*in vitro*、*in situ* などを用いる場合は、イタリックで表記する。ゴシック使用は必要最小限とする。

9. 各図表はそれぞれ別葉(1ページ当たり1図表)とする。図表の挿入場所は、原稿の欄外余白に朱記する。各図の下方にはFig. 1 のように図番号を記す。写真はハイコントラストで明瞭なものを用意し、原則として解像度400 dpi以上のTIFF またはJPEG 形式の電子ファイルを入稿時に提出する。描画も同上の電子ファイルで提出するものとする。原画を郵送したい場合は日本線虫学会誌編集事務局までお問い合わせください(原画の大きさはA3版を

越えないものとする)。図の説明は、引用文献の後にページを改め、図の番号順に記載する。表は図版説明の後に入れる。表に脚注がある場合は、a、b の上付きのアルファベットを順次付して引用し、和文または英文で説明する。

10. 引用文献

a. 本文中で引用する文献は、引用か所に著者名と発行年をカッコ内に入れて示す。共著者が2名までは併記し、3名以上のときは第一著者名の後に*et al.* (英文) または「ら」(和文)をつけ、第二著者名以下は省略する。

(Croll, 1970 ; Ueda and Kasai, 1993 ; Yamada *et al.*, 1972 ; 上田・葛西, 1993 ; 山田ら, 1972)。本文中にカッコ抜きで著者名を記述する必要がある場合も同様にして、発行年をカッコ内に示す。Croll (1970)、Ueda and Kasai (1993)、上田・葛西 (1993)、Yamada *et al.*

(1972)、山田ら (1972)。和文原稿のカッコは引用文献の発行年を囲むものも含め、すべて全角文字で入力する。和文原稿本文における欧文引用文献の著者と年次の間のカンマも全角文字で入力する。

b. 引用文献の項には、著者名のアルファベット順、発行年順に引用した文献を配列する。共著者名が6名までは全員を列記し、7名以上の時は第6著者名の後に*et al.*

(英文) または「ら」をつけ、第7著者名以下は省略する。本文で複数の引用を区別できない場合、発行年に

a、b のアルファベットを順次付して区別する。c. 誌名とその巻の数字の間には半角のスペースを入れる。

d. 原著論文、総説、図書のほかに、ウェブサイト、CD-ROM、特許、要旨、未発表データ、私信などの引用も可能である。その場合、ウェブサイトのアドレス、特許番号、ISBN、ISSN など引用源の同定ができる情報を記載する。引用源の同定が困難なものに関しては、「未発表」、もしくは「私信」として引用し、引用文献の項には加えない。

e. 英文原稿で和文論文を引用する場合、当該文献に英文要旨がある場合は、(in Japanese with English summary) を、英文要旨がない場合は (in Japanese) を末尾につける。

f. 外国語の引用文献は、ラテン文字で表記できる英語、

ドイツ語、フランス語、スペイン語は原文のまま引用文献に掲載するが、これら以外の言語の引用文献は論題、誌名を英訳し、注釈を付けて掲載する。